

# US Vanagon History

Vanagon  
Vanagon Camper

## US仕様ヴァナゴンの歴史



ベイウインドーよりも手頃で快適、ルックスも魅力的で、近ごろ人気のヴァナゴン。  
しかし、その年式変遷はコアなマニアにしか知られていない深い世界。  
いまStreet VWsは、独自の調査で未知の領域に足を踏み入れる……

*text by TAKASHI NOBUSAWA special thanks to GAKUYA 072-983-2468 <http://www.e-gakuya.com/>*

# US Vanagon History

## ミニバン時代の先駆けだったヴァナゴン

**S**treet VWsでは、創刊当初からヴァナゴンも空冷VWの仲間として取り扱ってきた。いまだに空冷VWの世界では、新しすぎて別のクルマというイメージが強いが、1990年代までフラット4リアエンジンだったという点は、空冷VWの名残りを大きく残したモデルなのだ。

ベイウインドーの後継モデルとしてドイツでは1979年5月から生産開始。次世代のT4の生産と入れ替わりで1990年9月にドイツでの生産を終了。その後、オーストリアのシュタイア・プフの工場に生産ラインを移して1992年まで生産され、ヨーロッパ市場から姿を消す。しかし、南アフリカでは2002年まで生産が続いていた。

今回は、多岐にわたるヴァナゴンのなかでも、US仕様のおおまかな変遷をまとめた。その理由は、日本で最もよく見るヴァナゴンはアメリカからの並行輸入車だからだ。ヤナセ物は非常に数が少なく、資料も少ない。またヨーロッパ仕様はバリエーションやオプションが多岐にわたりすぎ、簡単にまとめることができない。そのマニアックな世界は、またの機会に掘り下げることにしよう。

### どうしてリアエンジンのままだったのか？

VW社は'70年代に水冷フロントエンジン・フロント駆動へと移行していたことはいまでもない。そして、モデル間でコンポーネントを共有することで、生産コストを削減する方針であった。ドイツでの空冷リアエンジン・モデルの生産は、1974年にビートルとタイプ2を残して終了しており、1979年にはビートルも終了。'80年代のVWは完全に水冷フロントエンジンの時代になると思われた。

しかし、1980モデルとしてデビューしたヴァナゴンは、空冷リアエンジンのままであった。これはコスト削減の面から見るとかなりムダなことだ。基本コンポーネントが他車とは異なる専用設計。さらに、ヴァナゴンにしか使われない水冷水平対向エンジンまで開発している。

そこまでしてリアエンジンのままだったのは、市場調査の結果、リアエンジンというレイアウトが様々な面で優れていることが判明したからである。

荷物の量に関わらず、重量配分がほぼ50:50であること。広い運転席空間と荷室。高い登坂能力。つまり、ベイウインドーまでのメリットをそのまま受け継ぎ、妥協することなく究極のリアエンジン・

ワンボックス車を作り出したのである。その結果、ヴァナゴンは現在でも実用できる名車となった。

### 車名の正解は？

仕向地や年式によって正式車名がコロコロと変わるのがVWのクルマたち。ヴァナゴンはドイツでは「Transporter」や「Caravelle」という名称が主に使われ、北米市場で使われたのが「Vanagon」である。また、ヤナセでは途中で名称が変わるといふ、ややこしい出来事もあった。

こうしたわずらわしさを避けるため、VW社内やヨーロッパでは、Transporterの頭文字をとった「T」に、3世代目を表す「3」で、「T3」と呼ぶのが主流だ。

どのように呼んでも、伝わればOKだが、本誌ではT3を総称するときには基本的に「ヴァナゴン」と呼ぶことにした。なぜなら、これまでの誌面で「バナゴン」と表記することが多く慣れ親しんでいるほか、他のモデルの車名もアメリカ式の表記を優先的に使っているからだ。

### Van+Wagon=Vanagonの意味

アメリカ市場ではパッセンジャーモデルとキャンパーのみが販売され、デビュ

## 歴代Transporterの変遷をおさらい

### T1 1950-1967



ビートルのコンポーネントを利用したキャブオーバー型バンは、世界的にも進んだアイデアだった。「スプリットスクリーン」、「アーリーバス」などと通称される。

### T2 1967-1979



各部の強化と改良を加えてモデルチェンジを果たした2代目。最終的にエンジンは2リッターまで進化した。「ベイウインドー」と通称される。

### T3 1979-1992



イチから設計しなおされた3代目。エンジンは水冷へと進化していく。リアエンジンの最終型となる。北米名の「ヴァナゴン」と通称される。

## 仕向地による車名の違い

	ヨーロッパ	アメリカ	日本
パッセンジャー・モデル	Bus, Caravelle	Vanagon	カラベル、マイクロバス・ヴァナゴン
コマーシャル・モデル	Transporter	未発売	トランスポーター

ベイウインドー時代までに比べると、T3時代は比較的に車名がハッキリとしてきたが、まだややこしさは残る。アメリカはVanagonのみでわかりやすい。ヨーロッパのパッセンジャーモデルは当初Busだったが、1982モデルからCaravelleに変更された。日本では1985モデルから正規輸入されたので、ヨーロッパに倣いカラベルと名乗ったが、最終となる1991モデルのみマイクロバス・ヴァナゴンという、どこの国にもない名称となる。この理由は諸説あるが、真相は謎だ。

一当初の1980モデルから最終型の1991モデルまで「Vanagon」という名称が与えられた。つまり、VanagonといえばT3のみを指す。日本ではT4もヴァナゴンとして販売されたのでややこしいが、いったん無視しておこう。

VanagonはVanとWagonを組み合わせた造語だということはアメリカ版カタログに書いてあり、日本でも有名な話だ。しかし、その本当の意味を理解しているだろうか？

VanやWagonという言葉は、国によってニュアンスが異なる。日本ではバンといえば貨物車、ワゴンといえば乗用車という棲み分けが一般的だ。たとえボディ形状がワンボックス型でも、2ボックス型でも共通で、ボディ形状ではなく用途で棲み分けされる。これはヨーロッパの感覚に近い。

それゆえ日本では、「荷物も人も積めることからVan + Wagon」だと解釈することが多かった。だが、アメリカではニュアンスが違う。

'60年代以降のアメリカでは、Vanとい

えばワンボックス車を指し、貨物車か乗用車かの用途は関係ない。ただし、源流は貨物車であるため、乗り心地や快適性は二の次とされている。

そしてワゴンといえば、セダンの後部を延長して荷室にした2ボックス型乗用車を指し、セダン譲りの快適性と運動性を備えたモデルとなる。かつて日本ではこれがバンと混同され、人気がなかったことから、文化の違いが大きいことがわかる。

つまりアメリカの感覚で考え直してみると、Van + Wagonの真意は「大きな室内スペースを誇るワンボックス型でありながら、セダンのような快適性や運動性を兼ね備えている」という意味なのだ。

この概念のクルマは、現在ミニバンと呼ばれているが、アメリカでミニバンという言葉と概念が決定づけられたのは、ヴァナゴン発売から4年後の1984年型プリマス・ヴォイジャーが起源とされている。ヴァナゴンは、いやT1時代からVWバスは非常に画期的なクルマだったのである。

## コマーシャル・モデル



ベイウインドー時代まで車名のエンブレムが付くことはなかったが、T3時代にはパネルバン、ピックアップ、コンビなどの働くクルマにTransporterというエンブレムが装着された。アメリカでは発売されなかったが、カナダでは取り扱いはあった。写真はヤナセカタログより。

## パッセンジャー・モデル



ヨーロッパ仕様の乗用モデルにはCaravelleという車名が与えられたが、これはグレード名と捉えることもできる。US仕様はこれをベースに現地事情に合わせた仕様を選択し、Vanagonの名で発売された。写真はヤナセカタログより。

## US仕様ヴァナゴンの歴史

次ページからは、US仕様ヴァナゴンのカタログを抜粋しながら、年式変遷を追っていく。全年式のカラーチャートも収録。購入や年式化けの参考にしていただきたい。

VWのラインナップの中で唯一、'50年代からの血統をストレートで伝承しているのがトランスポーターだ。ヴァナゴンは水平対向リアエンジン時代の最終型であり、ドイツで生産された最後のリアエンジンVWである。フロントエンジンになりメカニカルは別物になったが、その利便性は受け継がれている部分が多い。

## T4 1990-2003



フロントエンジン、フロント駆動というまったく新しい設計になった4代目。ようやく他モデルとエンジンの共用が実現した。北米名は「Euro Van」となるが、T4という呼び方が定着している。

## T5 2002-2015



少し大型に進化した5代目。この代から北米と日本には正規輸入されておらず、見かけたらかなりこだわりのオーナーということだ。ヨーロッパではそこらじゅうで見かける。

## T6 2015-present



サイズも基本機能も大きく変わらない6代目は、主に環境性能や安全性が進化している。2019年にT6.1へとマイナーチェンジした。

# 1980-82 1段グリルの最初期 空冷時代

1980モデルとして1979年後半から生産されたヴァナゴン。デビュー当初はベイウインドーと同じ2リッターの空冷タイプ4エンジンを搭載していた。大きく強化された車体は重くなり、パワー不足であった。空冷エンジン時代までが初期型といえ、フロントグリルが1段のみであることが外見上の特徴。北米ではパッセンジャーモデルがVanagon、Vanagon Lの2グレード構成で、上下に塗り分けられた2トーンカラーが選択できた。Vanagon Camperはベイウインドーと同様にP22、P27がラインナップされ、カラーは単色のみだった。



なんといっても初期型の特徴は、グリルが1段であること。空冷エンジンゆえにラジエーターが必要ないからだ。大きなグリルは換気用の外気取り入れ口で、ゴルフなどの水冷モデルとデザインに共通性を持たせたものだ。

丸型ヘッドランプは北米仕様の場合には規格型シールドビームとなる。

ホイールもベイウインドーと同じ5.5J×14インチの鉄チンに、ハブキャップを備える。バンパーは低グレードのVanagonはブラック塗装、Vanagon Lはクロームとなる。

ボディカラーには単色と2トーンが用意され、2トーンの場合にはボディの上下で塗り分けられるのもベイウインドーの名残りだ。



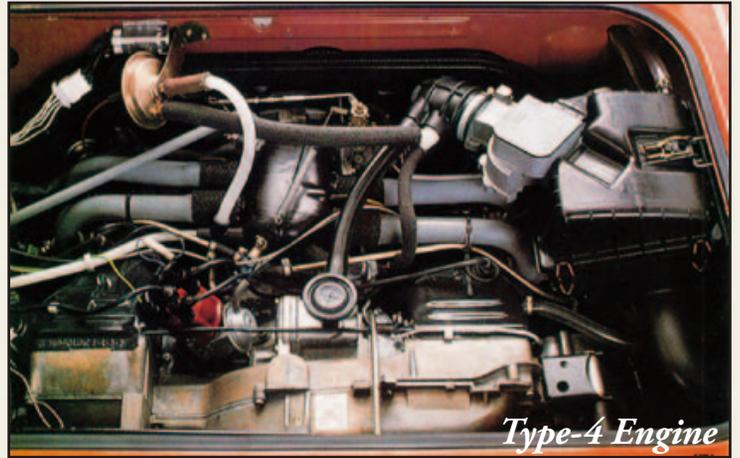
初期型はリアのエアインテーク・ルーバーがボディパネルに直接プレスされている。これがエンジンルームに空気を導入するものだ。ドイツ本国でディーゼルエンジンが追加された1981年2月頃から、空冷エンジン搭載車も含めて全車プラスチック製になる(次ページ参照)。

リアハッチの左側にVOLKSWAGENのエンブレムが備わり、1983モデルまでVWロゴはない。右側にVANAGONとグレードを表すエンブレムが備わるのは1991モデルまで共通している。

リアウインドーには標準でデフォグガーが装備され、リアワイパーがオプション選択可能。テールランプは最終型まで特に変わることがなかった。



初期のダッシュボードはカドの部分のみパッドが貼られていた。フロントシートにアームレストはなく、ドアパネル側にアームレストが備わる。4速MTと3速ATが選択できた。

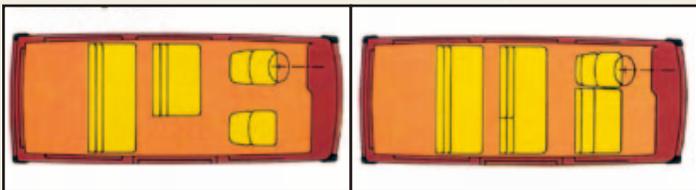


**Type-4 Engine**

ベイウインドー時代からほとんど変わらない仕様の1971ccの空冷水平対向タイプ4エンジン。外部にエンジンリッドはなく、メンテナンスはラゲッジスペースのハッチから行う。



ミドルシートには固定式のアームレストが右側だけ備わる。ヘッドレストは備わらない。写真の7人乗りウォークスルーが標準モデルで、オプションで9人乗りが選択できた。



左が7人乗り、右が9人乗りのレイアウト。シート配列はT1時代から変わっていない。

## 伝統のキャンプモデル

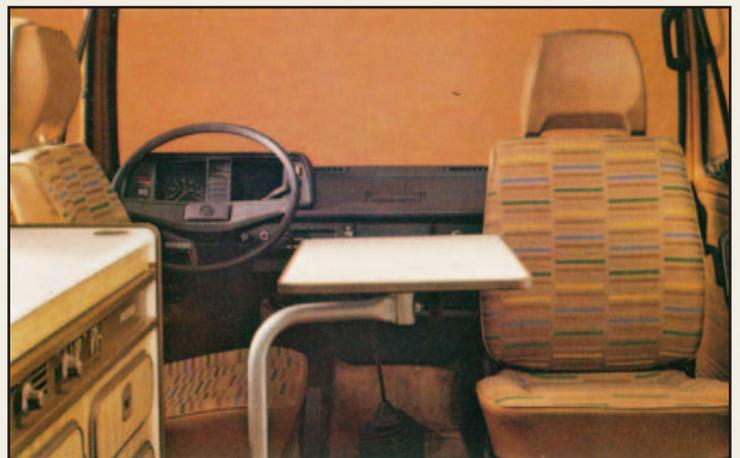


**1980-81  
Vanagon Camper**

ウェストファリア製キャンプモデルは、北米ではVanagon Camperという車名で発売された。前上がりのポップトップはベイウインドー時代の面影を残す。サイドのルーバーウインドーは安全性のため廃止されたが、スライドウインドーの開き方がパッセンジャーモデルとは異なる点に注目。



キャンピング内装のレイアウトや装備は、ベイウインドー時代を踏襲している。1982モデルまでは、ガス系統を備えるP27と、ガスのないP22をラインナップ。1983モデルからP27のみとなる。



フロントシートは回転式で、停車時には後ろ向きにできる。フロント用テーブルはベイウインドーにはなかった新装備だ。

# 1982-83

## ディーゼル、GL、 水冷化の過渡期

1982モデルから北米仕様にもディーゼルエンジンが追加され、2段グリルが登場した。ホイールキャップがメッシュデザインのフルカバータイプとなり、オプションのサンルーフが追加されたことも特筆すべきだ。また、1982モデル後半から上級グレードのVanagon GLが登場。異なる塗り分けパターンの2トーンと、豪華な装備が追加された。そして1983モデル後期に、ついに水平対向ガソリンエンジンが水冷化された。これにより、全車が2段グリルとなった。前期型の名残りがあつつつ、内部が進化していった過渡期といえる。

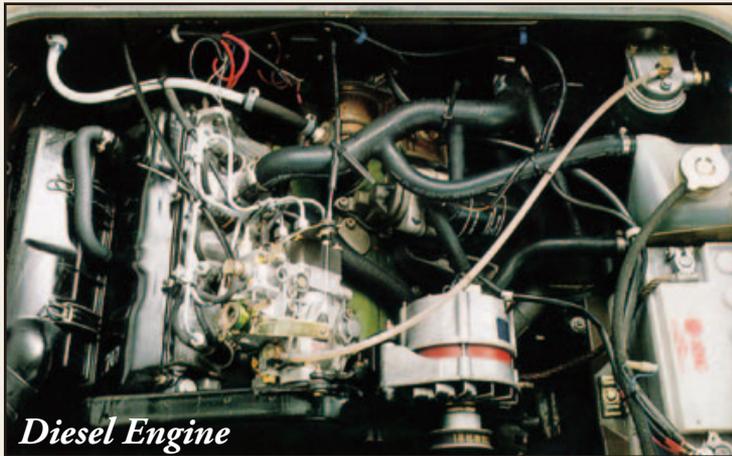


1982モデルから水冷ディーゼルエンジンが追加され、外気導入グリルの下にラジエターグリルが追加された。なお空冷モデルは1段グリルのままである。また、1981年後期からリアのエアインテークがプラスチック製になったのも、ドイツ本国でディーゼルが登場したためである。ホイールキャップがメッシュデザインのフルカバータイプに変更。これにより、現代的なルックスとなった。



1982モデル後期から、豪華装備を加えたGLグレードが登場した。これによりグレードなしのVanagonはなくなり、LとGLのみのラインナップとなる。

具体的には折りたたみ式アームレスト、全面ティントウインドー、2トーンの塗り分けが変わったことが特徴。発売時のリーフレットでは後席ヘッドレストが備わり、サイドウインドーが固定式だが、実際にはヘッドレストはなく、ウインドーはスライド式だった。

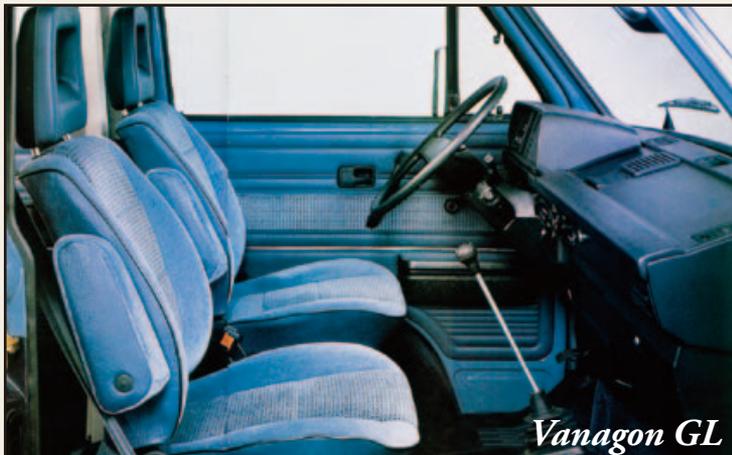


**Diesel Engine**

ディーゼルエンジンはゴルフに積まれたのと同じ水冷直列4気筒1.6リッターである。空冷2リッターの70hpに対して、ディーゼルは49hpとアンダーパワーであった。1983モデルをもって廃止された。



オプションとして手動式サンルーフが登場。1988モデルから廃止されてしまうため、レアな装備である。この写真ではサイドガラスのテント具合も見える。



**Vanagon GL**

GLに標準装備となった格納式アームレストが備わるフロントシート。その代わりにドアパネルのアームレストは備わらない。

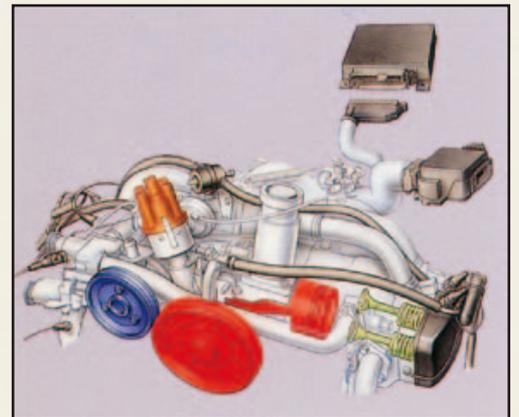
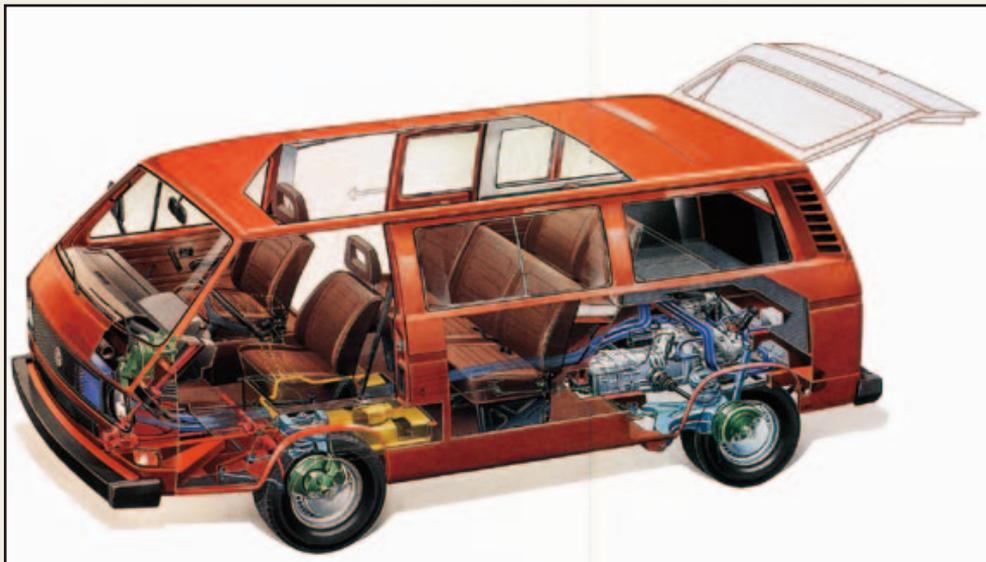


**Vanagon GL**

GLではミドルシートとリアシートの全席に格納式アームレストが備わる。マテリアルもベロアで高級感がある。

## 水冷フラット4“ウォーターボクサー”が登場

1983モデル後期から、空冷タイプ4エンジンに代わって、新開発の水冷水平対向エンジンが採用され、ウォーター・ボクサーと呼ばれる。外寸はタイプ1エンジンに似ており、タイプ4型メインベアリングを採用。ヘッドとシリンダーを不凍液で冷却し、フロントのラジエターまで圧送する。北米仕様の馬力は82hpと、空冷に比べて約17%アップ。外見はディーゼルと同様のグリルを備える。



1983~1985北米モデルのウォーター・ボクサーは、1913ccのDH型で、Digijet式インジェクションにより82hpを発生する。なおヨーロッパ仕様は依然としてキャブレターが主流だった。空冷用のチンがない分、意外とシンプルに見える。

# 1984-85      メタリックカラーと エアロホイールキャップ

1984モデルはメタリックカラーが追加されたのが大きな特徴。また、限定車のWolfsburg Limited Edition (WLE) が発売され、新たな装備が先行して採用された。以後WLEは毎年発売されたが、その内容は毎年変更された。1985モデルはエアロホイールキャップが標準装備となり、2トーンが廃止されメタリックカラーが追加された。また、ウェストのプレスラインにシルバーのストライプが入るのも特徴である。1985モデルのWLEでは、初めて本格的な“ウィークエンダー”内装が採用された。



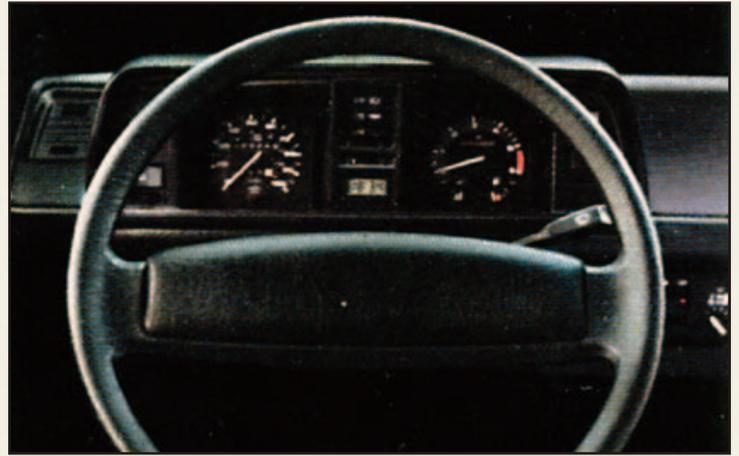
1984モデルのWolfsburg Limited Edition。WLEにはフロントサイドにエンブレムが備わる。通常モデルはメッシュホイールキャップだったが、新たにエアロディスク・ホイールキャップを採用し、新たにエアロディスク・ホイールキャップを採用し、ウェストラインにストライプが入る。また、リアシートがベッドになり、モスクートネットなども付属する、ウィークエンダーの先駆けといえる仕様であった。



1984モデルではキャンパーにもWLEが設定された。北米ヴァナゴンは唯一となる2トーンのキャンパーである。1984モデルまでの通常のキャンパーは、すべてホワイトのポップトップだったが、初めて色付きのポップトップが採用され、翌1985モデルからはカラーコーディネートされたポップトップが標準となる。このWLEは通常のキャンピング内装に加えて、取り外し可能な2人がけミドルシートが付属するのが特徴。



1984モデルから、リア左側のVOLKSWAGENエンブレムに、VWロゴが加わった。また1985モデルから、パッセンジャーモデルではウエストラインにシルバーのストライプが入る。



1984モデルのWLEから、タコメーターとデジタル時計がGLおよびキャンパーに標準装備となった。従来のアナログ時計がタコメーターになったことで、時計はデジタルに変更されたというわけだ。



1984モデルのWLEから採用されたエアロディスク・ホイールキャップは、最終1991モデルの低グレードまで採用されていた。より近代的なイメージを醸し出すが、ホイールは変わらず5.5Jの鉄チンである。



内装カラーと生地もボディカラーに合わせて変更されていた。メタリックカラーではグレー系が主流となる。

## 軽装キャンパーのウィークエンダー



*1985 Vanagon Camper Wolfsburg Limited Edition*

1985モデルではキャンパーにのみWLEが設定され、通称“ウィークエンダー”と呼ばれる内装が初めて採用された。これはガスコンロとシンクを備えず、後ろ向きの中ルシートとベッドになる3人がけリアシート、そして折りたたみテーブルを備える、いわば軽装キャンパー。ほぼ同装備のWLEが1987モデルまで設定され、1988モデルからより装備の軽いウィークエンダーが登場する。



# 1986-87 角目&2.1リッター 後期型に突入

1986モデルはヴァナゴンにとって最も大きなモデルチェンジと言っても過言ではない。エンジンが2.1リッターのDigifant制御となり、四輪駆動のシンクロが登場したのだ。また、外見では北米仕様は全車が角型ヘッドランプになったことが目立つが、意外とその他のディテールは変わっていない。95hpとなった2.1リッターは、実用性の高さやパーツ供給の良さで人気が高い。



1986-87 Vanagon GL

1986モデルの外見上の大きな特徴は、角型ヘッドランプ。このヘッドランプはサイズが角型2灯シールドビームに似ているが、専用設計のもので、バルブ交換式である。外側にハイ/ロービーム、内側にフォグランプを標準装備する。

オプションでクルーズコントロール、パワーウィンドー、パワードアロック、パワーミラーが追加された。

意外にも見た目には大きな変更はないが、エンジンの改良とシンクロの登場により、1986モデルからが後期型といえる。

また、1987モデルの大きな変更点はミドルシートに



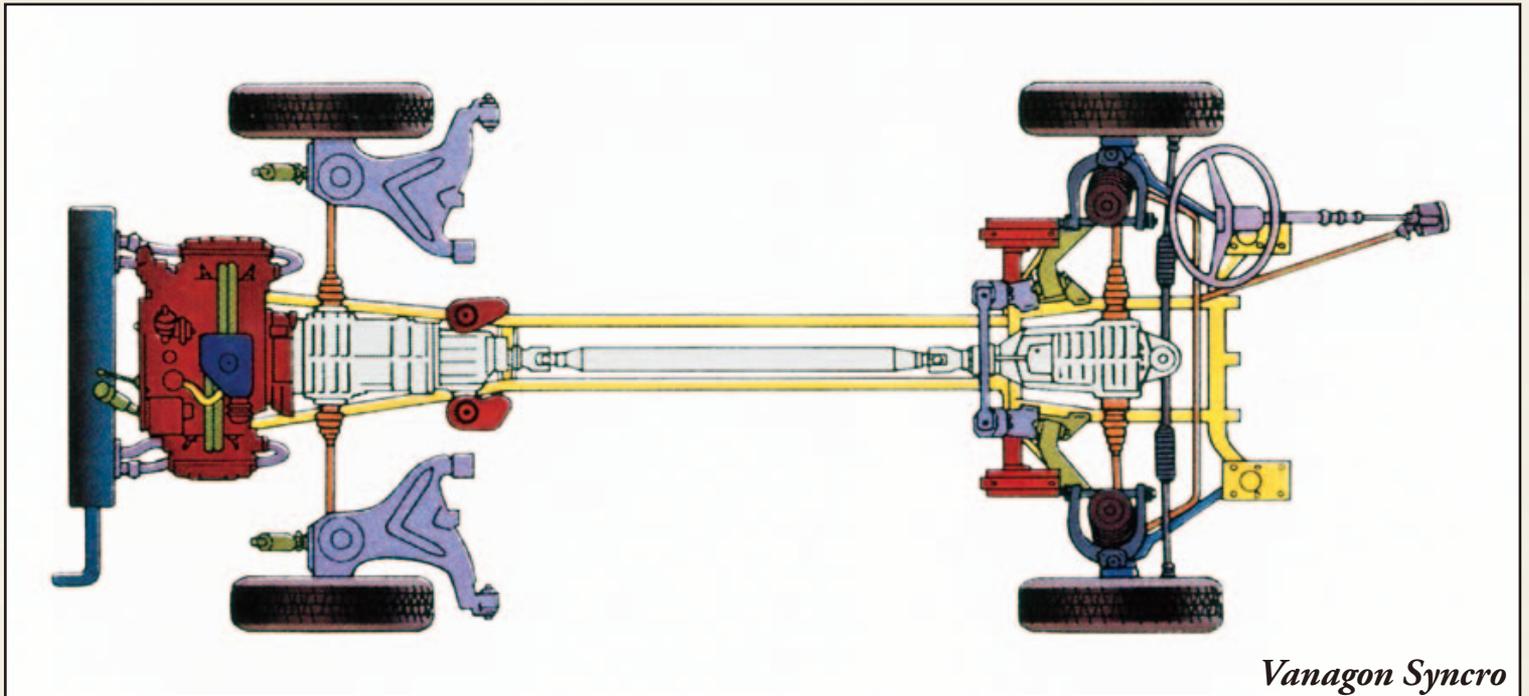
1986-87 Camper GL

キャンパーも角型ヘッドランプになった以外は、大きな変更はない。

車名はCamper GLとなり、グレードアップ感を出したが、装備に特に変更はない。

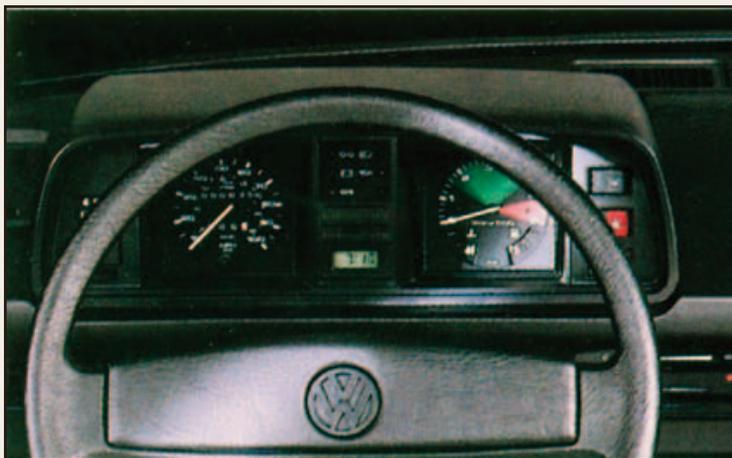
翌1988モデルからほぼ全車が大型バンパーとなり、サイドウィンドーの後端にフロースルー・ベンチレーションの通気口が追加されるため、スチールバンパーで通気口がなく角目なのは1986~1987モデルだと判別できる。





*Vanagon Syncro*

新たに登場した四輪駆動のシンクロのドライブトレイン。フロントに搭載されるビスカスカップリングにより自動的に制御され、平常時はリア駆動となり、リアがスリップした場合にフロントが駆動する。この駆動系は、半完成車をオーストリアのシュタイアブフに送り、シンクロの加工と搭載を済ませるとドイツに送り返され、内外装が仕上げられた。そのため、駆動系以外の仕様は2WDと共通となる。パッセンジャーモデルとキャンパーの各モデルに選択できた。標準ホイールは5.5J鉄チンだが、標準タイヤサイズが205/70R14となる。



2.1リッターになったことにあわせて、タコメーターの内部に水温計が追加された。すなわちタコメーターも全車標準装備となる。



*1987 Vanagon GL*

1987モデルからフロントシートのアームレストがアジャスタブルとなり、ミドルおよびリアシートのアームレストが廃止された。



*1986-87 Vanagon GL*

1986モデルから6Jアルミホイールがオプション設定され、その場合は205/70R14タイヤが標準となる。シンクロでも標準ホイールは鉄チンのままである。



*1987 Camper GL*

1987モデルから、一部のボディカラーのポップトップがボディと完全同色となる。各年式のカラーコンビネーションはP●●を参照。

# 1988-91

## 大型バンパーの 最後期型

1988モデルは大型バンパーが標準装備となったことで、外見のイメージが大きく変わった。バンパーの色は、年式とグレードによって成型色のグラファイト単色か、2トーンの塗り分けが存在する。1989モデルから最上級グレードのVanagon Caratが登場し、サイドにバンパーと同色のロッカーパネルも装着される。そして1990モデルにはCaratにポップトップを追加したMultivanが登場した。ドイツでのT3の生産は1990年9月に終了したが、オーストリアのシュタイアプフに生産ラインを移し、1992年11月まで生産。北米仕様は1991モデルで販売を終了した。



1988モデルから大型ウレタンバンパーが標準採用され、見た目が大きく変わった。また、これまでドアを通じて排気していたフロースルーベンチレーションが、サイドウインドーの後部から排気するようになり、車内全体が換気できるようになった。

アルミホイールはGLにはオプションのままで、WLEとCaratには標準装備となった。

GLグレードは1991モデルまでほぼ変わらない仕様となる。外見上で変わるのは、1990モデルからミラーがボディ同色になることくらいだ。



キャンパーもGLと同様に大型バンパーとベンチレーションが1988~1991モデルの特徴となる。また、全モデルとも1988モデルの途中からフロントエンブレムが大きくなる。

さらに写真の1989モデルから、ウインドーモールがブラックとなり、締まった印象になる。GLおよびキャンパーのホイールキャップは1991モデルまでエアロディスクが標準装備だ。





**1988-89 Vanagon GL**  
1988モデルから、リアハッチ中央にVWエンブレムが備わり、左側のVOLKSWAGENエンブレムは廃止となる。

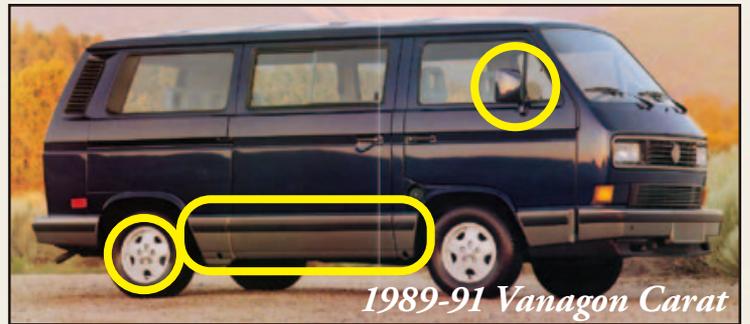


**1990-91 Vanagon GL**  
1990モデルから後席ヘッドレストが標準装備となる。写真では取り外されているが、ミドルシートにもヘッドレストが備わる。



**1990-91 Vanagon**  
1990モデルからGLの付かない低グレードのVanagonが再登場した。バンパーはブラック塗装のスチールとなり、内装はウィークエンダー仕様となる。

## 最上級の走るラウンジ CeratとMultivan



**1989-91 Vanagon Cerat**  
1989モデルから、ロッカーパネル、アルミホイール、カラードミラーを標準装備したVanagon Ceratが登場。内装は下写真のウィークエンダー仕様となり、GLよりもゆったりとした車内空間により上級グレードに位置づけられる。同様の仕様は1988モデルのWLEに先行採用されていた。



**1990-91 Multivan**  
1990モデルからCeratにポップトップを追加したようなMultivanが登場した。見た目は最高級キャンパーだが、内装はウィークエンダーのため、キャンピング機能としては劣る。まさに週末のちょっとしたピクニックやレジャーに便利な仕様である。

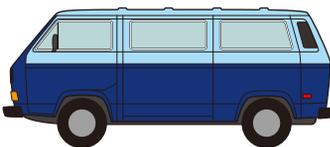
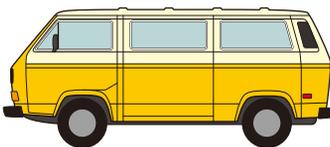
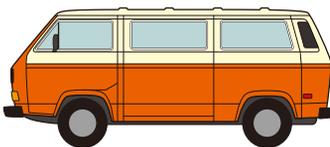
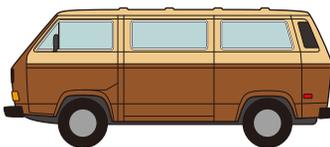
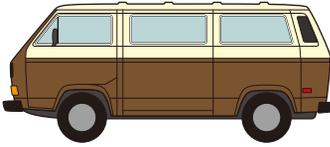
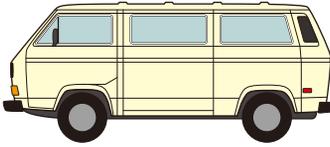
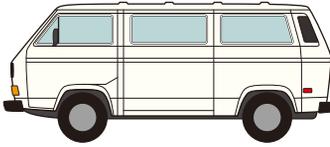
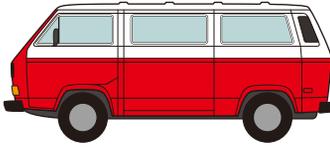
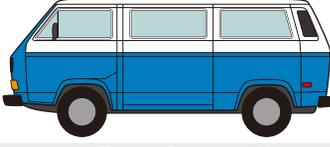
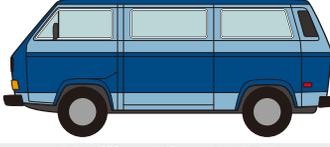
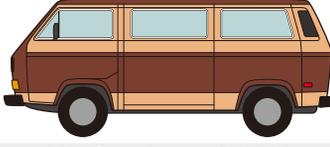
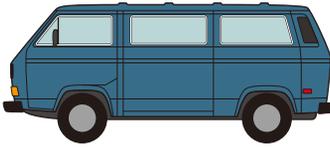
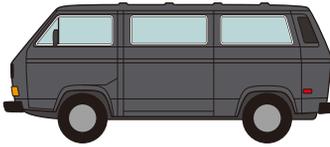
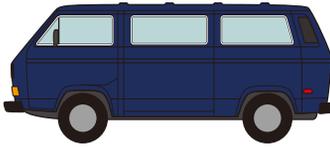
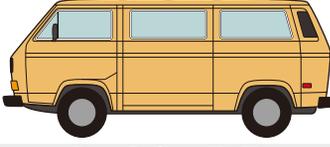


1985~87 WLEにあった収納スペースが省かれ、取り外し可能な後ろ向きミドルシート2脚を備える後期ウィークエンダー内装。1988モデルのポップトップなしWLEに採用され、その通常モデル版がCeratとなった。

# Vanagon Color Chart

## ヴァナゴン カラーチャート

ヴァナゴンの年式を特徴づけるディテールのひとつが、ボディカラーである。ここでは北米仕様の全カラーコンビネーションを一覧にした。同じボディカラーでも、バンパーのカラーが異なる場合には別パターンとして整理した。

<p><b>Guinea Blue (LH5K)</b></p>  <p><b>Cornat Blue (LH5H)</b> 1980-82 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Ivory (L567)</b></p>  <p><b>Bamboo Yellow (LH1B)</b> 1980-82 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Ivory (L567)</b></p>  <p><b>Brilliant Orange (L20B)</b> 1980-82 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Samos Beige (LH1N)</b></p>  <p><b>Assuan Brown (LH8B)</b> 1980-84 Vanagon / Vanagon L</p>
<p><b>Ivory (L567)</b></p>  <p><b>Agata Brown (L86Z)</b> 1981-82 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Ivory (L567)</b></p>  <p><b>Ivory (L567)</b> 1981-82 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Pastel White (L90D)</b></p>  <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1982-87 Vanagon / Vanagon L 1985-86 Vanagon GL</p>	<p><b>Damuso White (LH9D)</b></p>  <p><b>Marsala Red (LH3D)</b> 1983-84 Vanagon / Vanagon L</p>
<p><b>Damuso White (LH9D)</b></p>  <p><b>Medium Blue (LH5G)</b> 1983-84 Vanagon / Vanagon L</p>	<p><b>Samos Beige (LH1N)</b></p>  <p><b>Agata Brown (L86Z)</b> 1982 Vanagon GL</p>	<p><b>Monaco Blue (LA5D)</b></p>  <p><b>Kurilian Blue (LH5T)</b> 1982-84 Vanagon GL</p>	<p><b>Timor Beige (LH8T)</b></p>  <p><b>Merian Brown (LA8A)</b> 1983-84 Vanagon GL</p>
<p><b>Bronze Beige Metallic (LH8U)</b> 1984-86 Vanagon GL 1985-86 Vanagon / Vanagon L</p> 	<p><b>Dove Blue Metallic (LH5U)</b> 1984-87 Vanagon GL 1984 Vanagon GL WLE 1985-86 Vanagon / Vanagon L</p> 	<p><b>Wolfram Gray Metallic (LH7V)</b> 1984, 1986-87 Vanagon GL 1986 Vanagon / Vanagon L</p> 	<p><b>Marine Blue (LA5B)</b> 1984 Vanagon GL WLE 1985-86 Vanagon / Vanagon L 1985-87 Vanagon GL</p> 
<p><b>Bast Beige (LL1M)</b> 1985 Vanagon 1985 Vanagon GL</p> 	<p><b>Capri Blue (LK5E)</b> 1985 Vanagon 1985 Vanagon GL</p> 	<p><b>Flash Silver Metallic (LP7Y)</b> 1985-86 Vanagon / Vanagon L 1985-87 Vanagon GL</p> 	<p><b>Savanna Beige Metallic (LH1V)</b> 1985-86 Vanagon / Vanagon L 1985-87 Vanagon GL</p> 

# バンパー

後期になると、バンパーによってグレードの差別化が図られていた。バンパー交換によりグレードや年式を化けることは可能だが、穴埋めや塗装も必要となるためハードルは高い。

## 1980-87 Steel



クラシカルな雰囲気の鉄バンパー。クロームが主流だが、低グレードにはブラックもある。

## 1987-91 Colored

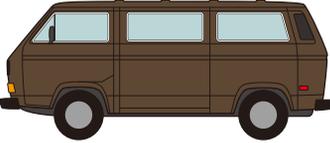
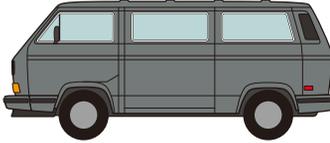
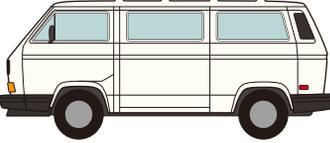
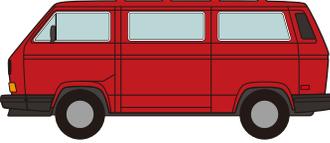
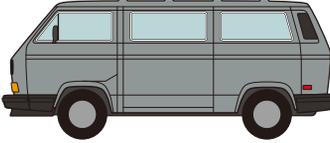
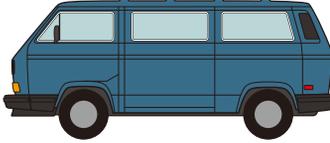
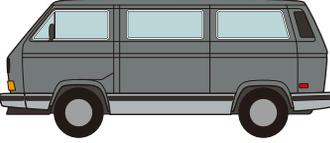
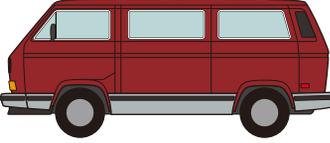
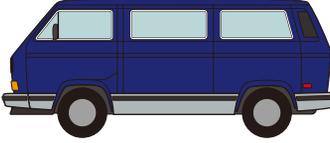
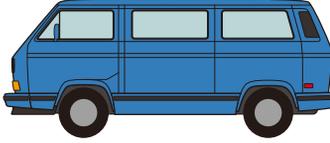
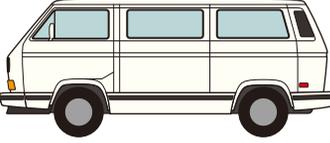
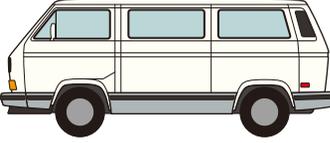
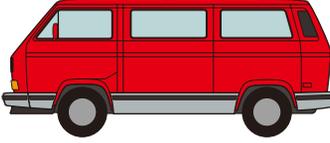
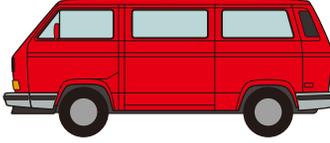
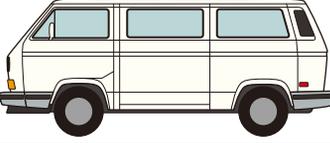
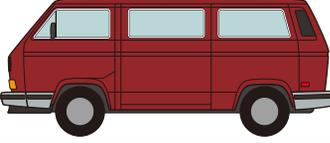
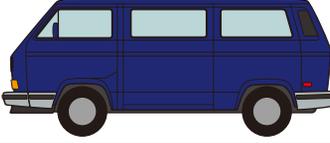


ドイツでは1984モデルから存在した色付きウレタンバンパー。帯の部分はグラファイト色。

## 1988-91 Graphite



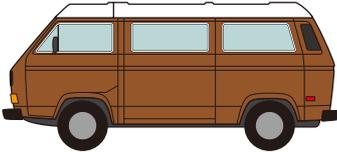
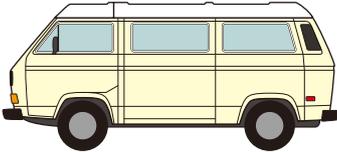
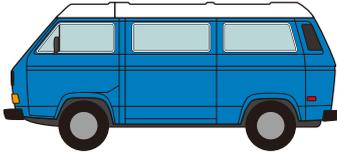
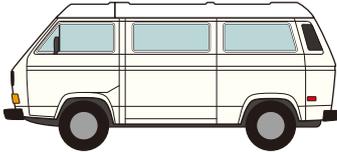
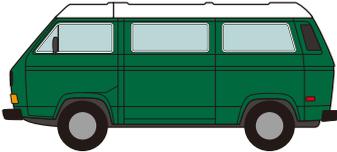
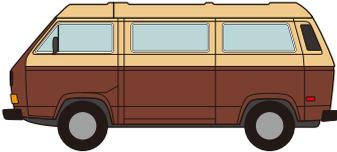
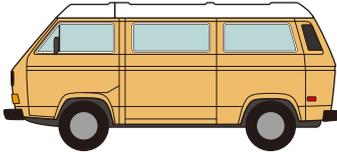
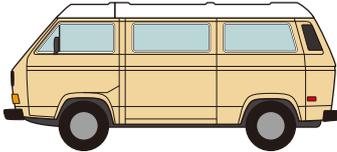
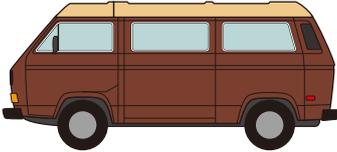
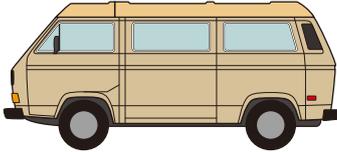
黒く見えるが、グラファイトという濃いグレー。単色にすることでグレードを下げている。

 <p><b>Mocha Brown (LH8V)</b> 1987 Vanagon GL</p>	 <p><b>Titian Red Metallic (LB3V)</b> 1987 Vanagon GL</p>	 <p><b>Wolfram Gray Metallic (LH7V)</b> 1987 Vanagon GL WLE Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Vesuvius Gray Metallic (LB7Y)</b> 1987 Vanagon GL WLE Bumper: Vesuvius Gray Metallic (LB7Y)</p>
 <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1988-89 Vanagon GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	 <p><b>Titian Red Metallic (LB3V)</b> 1988-89 Vanagon GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	 <p><b>Flash Silver Metallic (LP7Y)</b> 1988-89 Vanagon GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	 <p><b>Dove Blue Metallic (LH5U)</b> 1988-89 Vanagon GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>
 <p><b>Vesuvius Gray Metallic (LB7Y)</b> 1988 Vanagon GL WLE 1989-91 Vanagon Carat Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Bordeaux Red Pearl (LC3Y)</b> 1988 Vanagon GL WLE 1989-91 Vanagon Carat Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Orly Blue Metallic (LP5Z)</b> 1988 Vanagon GL WLE 1989-91 Vanagon Carat Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Star Blue Metallic (LD5T)</b> 1989 Vanagon GL WLE Bumper: Star Blue Metallic (LD5T)</p>
 <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1989 Vanagon GL WLE Bumper: Pastel White (L90D)</p>	 <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1990-91 Vanagon Carat Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Tornado Red (LY3D)</b> 1990 Vanagon Carat 1990 Vanagon Carat WLE Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Tornado Red (LY3D)</b> 1990 Vanagon GL Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>
 <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1990-91 Vanagon GL Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Bordeaux Red Pearl (LC3Y)</b> 1990-91 Vanagon GL Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	 <p><b>Orly Blue Metallic (LP5Z)</b> 1990-91 Vanagon GL Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	<p>1984モデルまでは2トーンカラーが特徴。L以下とGLでは塗り分けが異なる点に注目。1984モデルからメタリックカラーが追加され、モダンな雰囲気に。1987モデルからはキャンパーと共通化され、バンパーによるグレードの差別化が強くなった。</p>

# Camper Color Chart

## キャンパー カラーチャート

パッセンジャーモデルよりもカラーバリエーションが少ないキャンパー。また、2トーンは1984モデルのWLEのみで、原則として1トーンとなる。ただしポップトップの色が異なるため、2トーンのように見える効果がある。ポップトップはファイバーグラス製のため、ボディカラーと完全に一致はしないが、後期になると同色といえるほど近い色になる。経年劣化により変色していることが多いため、新車時の色を知ることが難しい部分だ。

<p><b>White</b></p>  <p><b>Assuan Brown (LH8B)</b> 1980-84 Vanagon Camper</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Ivory (L567)</b> 1980-84 Vanagon Camper</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Medium Blue (LH5G)</b> 1980-84 Vanagon Camper</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1982-87 Vanagon Camper</p>
<p><b>White</b></p>  <p><b>Escorial Green (LT6A)</b> 1983-84 Vanagon Camper</p>	<p><b>Beige</b></p>  <p><b>Merian Brown (LA8A)</b> 1984 Vanagon Camper WLE</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Bast Beige (LL1M)</b> 1985 Vanagon Camper</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Nevada Beige (LA1N)</b> 1985 Vanagon Camper WLE</p>
<p><b>Beige</b></p>  <p><b>Bronze Beige Metallic (LH8U)</b> 1985-86 Vanagon Camper 1985 Vanagon Camper WLE</p>	<p><b>Beige</b></p>  <p><b>Merian Brown (LA8A)</b> 1985-86 Vanagon Camper</p>	<p><b>Beige</b></p>  <p><b>Savanna Beige Metallic (LH1V)</b> 1985-87 Vanagon Camper</p>	<p>1983モデルまでポップトップのカラーがホワイトのみ、1984から1986モデルまではベージュとの2色しか存在しなかった。 パッセンジャーモデルとの差別化で、自然っぽい色が多い。</p>

## ホイール

ヴァナゴンのホイールは基本的にベイウインドーと同じ5.5J×14 ET39のスチール製で、キャップのスタイルが年式によって変わる。タイヤサイズは185R14が標準で、シンクローはホイールはそのまま205/70R14となる。ここに紹介するのは北米仕様のみで、ドイツ本国にはこれ以外の純正ホイールも存在する。

### 1980-81 Chrome Cap



ベイウインドーと同じクロームのハブキャップ。タイヤサイズも185R14と変わらない。本国仕様ではバイアスの設定も残っていた。

### 1982-84 Mesh Style



メッシュスタイルの場合でも、ホイールはシルバー塗装だったことがわかる。カタログ写真のタイヤはコンチネンタル。

### 1984-91 Aero Style

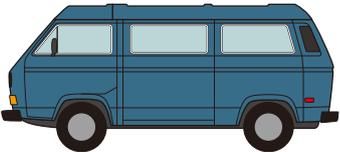
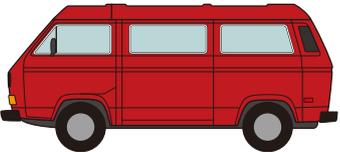
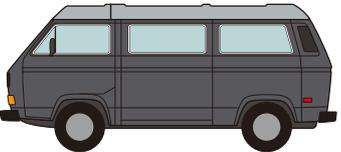
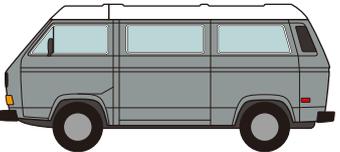
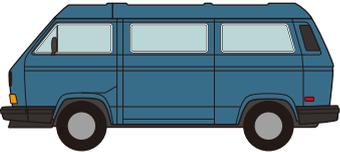
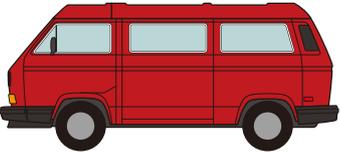
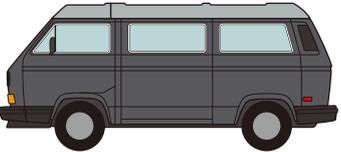
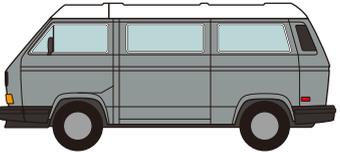
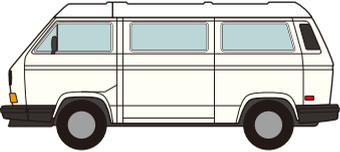
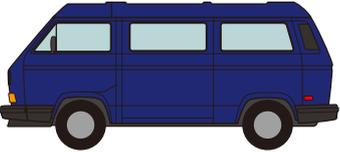
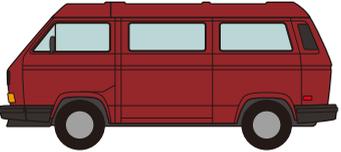
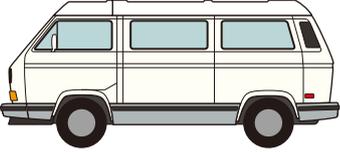
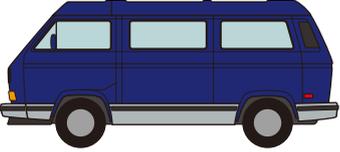
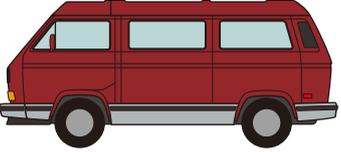


エアロスタイルになると、ホイールはブラック塗装になるようだ。こちらもコンチネンタルだが銘柄が異なる。

### 1986-91 Alloy Wheel



オプションのアルミホイールは6J×14インチのET30で、タイヤも同時に205/70R14と太くなる。写真はミシュランMXLを履く。

<p><b>Dove Blue Metallic</b></p>  <p><b>Dove Blue Metallic (LH5U)</b> 1987 Camper GL</p>	<p><b>Titian Red Metallic</b></p>  <p><b>Titian Red Metallic (LB3V)</b> 1987 Camper GL</p>	<p><b>Cloud Gray</b></p>  <p><b>Wolfram Gray Metallic (LH7V)</b> 1987 Camper GL</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Flash Silver Metallic (LP7Y)</b> 1987 Camper GL</p>
<p><b>Dove Blue Metallic</b></p>  <p><b>Dove Blue Metallic (LH5U)</b> 1988-89 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p><b>Titian Red Metallic</b></p>  <p><b>Titian Red Metallic (LB3V)</b> 1988-89 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p><b>Cloud Gray</b></p>  <p><b>Wolfram Gray Metallic (LH7V)</b> 1988-89 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p><b>White</b></p>  <p><b>Flash Silver Metallic (LP7Y)</b> 1988-91 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>
<p><b>White</b></p>  <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1988-91 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p><b>Orly Blue Metallic</b></p>  <p><b>Orly Blue Metallic (LP5Z)</b> 1990-91 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p><b>Bordeaux Red Pearl</b></p>  <p><b>Bordeaux Red Pearl (LC3Y)</b> 1990-91 Camper GL Bumper: Graphite (LH7B)</p>	<p>1987モデルから、ボディカラーに非常に近い色のポップトップが登場した。また、ボディカラーはパッセンジャーモデルとほぼ共通となり、モダンな雰囲気となった。キャンパーのウレタンバンパーはあくまで無骨なグラファイトのみ。色付きバンパーはMultivanのみであった。</p> <p>誌面スペースの都合でMultivanはこちらに掲載したが、Caratとの共通点のほうが多いグレードである。</p>
<p><b>White</b></p>  <p><b>Pastel White (L90D)</b> 1990-91 Multivan Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	<p><b>Orly Blue Metallic</b></p>  <p><b>Orly Blue Metallic (LP5Z)</b> 1990-91 Multivan Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	<p><b>Bordeaux Red Pearl</b></p>  <p><b>Bordeaux Red Pearl (LC3Y)</b> 1990-91 Multivan Bumper: Cloud Gray Metallic (LV7N)</p>	

## ポップトップのデカール

ポップトップの外見は変わらないが、WESTFALIAのデカールの貼り方が年式によって異なる。意外とその年式なりの雰囲気を生む要素なので、デカールの有無にもこだわりたい。

### 1980-91 Rear



リアの左側には最初から最後まで大きなWESTFALIAの抜き文字デカールが貼られた。

### 1980-84 Front



1984モデルまで、フロントに大きなデカールはない。サイドの小さなデカールも、実際には貼られていない個体がほとんどだ。

### 1985-91 Front



1985モデルからフロント左側にも大きな抜き文字デカールが貼られるようになった。